

横井 昌明 議員

識市会

市内を流れる河川管理や水質検査はどこが行っているのか

問

市内を流れる河川について尋ねる。

(1) 市内を流れる河川は1級2級河川、準用河川、普通河川【】はどの分類になり管理されているのか。

答 (1級河川)

国土保全上または国民経済上、特に必要な水系で、国土交通大臣が指定した河川。現在、109水系が対象。

管理は、国土交通大臣が行うが、区間を指定して一部各都道府県知事が行っている箇所もある。

(2級河川)

1級河川以外の水系で、公共の利害に重要な関係がある河川が対象で、河川が流れる各都道府県知事が関係市町村長の意見を聞いて指定。

管理は、各都道府県知事が行う。

(準用河川)

1級、2級河川以外の河川で、各市町村長が指定する。

管理は、河川法の2級河川に関する規定を準用して市町村長が管理する。

(普通河川)

1級河川、2級河川、準用河川以外の小河川を普通河川と呼びます。実際の管理は、市町村などが行う。

(2) 総合計画において水質検査の実施があるが、どの河川の水質検査を実施しているか。また基準はあるのか。

(3) 水質検査の結果の公表はどのように行っているのか。

(4) 河川に大量に繁殖しているミシシッピアカミミガメ【】について把握しているか。

顔の横から首筋にかけて赤いラインのある外来種のカメ。

(5) 対策を講じることを考えているか。

分類される河川の種類により管理者は異なる

答 土木課長

(1) 1級河川は木曾川、管理は国土交通省。2級河川は善太川、日光川、そして宝川の孫宝排水機場の下流部、管理は愛知県。準用河川は、鯛浦川1号、2号、3号と3河川、管理は弥富市。普通河川は市江川、支川の中地川も含み、鯛浦川、と宝川の孫宝排水機場の上流部、管理は孫宝排水土地改良区。

答 環境課長

(2) 水質検査、毎年7月梅雨明け時期に市内の河川や用排水路の14カ所で行っている。主に宝川水系を中

心に実施し他には、筏川、芝井川等の比較的大きな川で行っている。なお、検査を実施する河川の基準は定められていない。

(3) ホームページに掲載している。

(4) ミシシッピアカミミガメは、特定外来生物被害防止法による規制の対象外だが、既に日本に多く持ち込まれ、生態系に悪い影響を及ぼすおそれのある要注意外来生物に環境省が指定している。県に確認したところ、対策としては、飼育者へ遺棄しないよう普及啓発をしているということである。市としても、県と同様に飼育者に広報等により啓発していきたい。

(5) 現在のところ、人に危害を加えることがないため駆除までは考えていない。

中期財政計画補助金の見直しについて

問

補助金の見直しで終期設定、統廃合等はいつから進

めるのか。

秋をめどに補助金交付団体等と協議を持ち検討していく

答 総務部長

補助金等の見直しは、補助金等の見直しに関する指針を策定し、見直しの視点や方向性を示した。その中で、終期の設定は、補助金について、期間3年を限度とし、3年の補助期間終了後に補助金の交付の取り扱い、延長、廃止を再度検討する。国や県の制度のものは、補助期間終了をもって終了とする。

見直しの基準は、継続、拡充、縮小、統合、改善、廃止の6つの方向性に区分する。

24年度商工会、土地改良区事務費補助金などの見直しを行った。

今後、これら以外のどの補助金をどういった方向で見直すかということについては、秋をめどに補助金交付団体等との協議を持ちながら検討していく予定である。